

令和3年度神戸メリケンパークイルミネーション事業
優先交渉権者による企画提案書の概要

1. 提案事業者

神戸メリケンパークイルミネーション共同事業体

代表企業：ソニーピーシーエル株式会社

構成員企業：株式会社ディー・エヌ・エー

2. 提案のタイトル

PARKLIFE

3. 演出の概要

昼と夜の神戸を楽しみ、来園者が一緒に作り上げていく『PARKLIFE』

観光。光を観る。その時の自分自身を反映できるような何かを発見し感動したものを「観光」として人は記憶する。

昼間は、美しい風景と港文化漂う洗練された神戸の街を散策して、ときめきに出会い、夜は、メリケンパークで大切なだれかと心地よくゆったりと過ごして「美しい瞬間をつなぎとめる存在」として讃歌（参加）するイルミネーション。

ライティングは、「つなぎとめるべきものをつなぐ、海底に沈める錨(いかり/Anchor)」をコンセプトに落とし込み、メリケンパーク（地上）を海底に見立てる。

鑑賞者の頭上は海面となり、煌めく波を光で表現し、足元は海底に光る美しい物体をイメージして、いくつかのポイントに光たちを敷き詰める。

鑑賞者は、海底に沈んでいくいかりに思いを馳せ『美しい瞬間をつなぎとめる』存在になる。

(演出イメージ)



4. 『WASTE TAKE OUT』

小さなWASTE(廃棄物)ほど地上から海へ落ちて行ってしまう。
私たちが「いかり」となってつなぎとめるのは、「美しい瞬間」。

みなさんの視界のなかからWASTE(廃棄物)をなくすことで、「美しい瞬間」をつなぎとめていく。

入場料と称して、メリケンパーク内で目に入った小さなWASTE(廃棄物)をひとつだけ自分の家に持ち帰る試みを実施する。

廃棄物回収用に、神戸市企業を募り、本事業のロゴやメッセージなどをデザインしたバックやビニール袋を販売又は配布する。

*背景：パンデミック以降、公園飲みなどをする人が増え、廃棄物に関して神戸市民の心を痛めている。この課題へのポジティブなアクションとして、本事業では『WASTE TAKE OUT』と謳い、「メリケンパーク内の小さなWASTE(廃棄物)を1つ家に持ち帰る」という試みにチャレンジする。

5. ウォーターフロントエリア周辺との連携

周辺ホテルとのプラン企画、バスツアーやオンラインツアーとの連携など日中から本事業が実施される夜のメリケンパークへの誘客を図る。